

サンダンス・NHK

NHK とサンダンスはオリジナル脚本の映像化を志す監督を応援します

国際映像作家賞



日本部門
2009
応募要項



「クローンは故郷をめざす」
The Clone Returns to the Homeland

JAPAN

U.S.A.

「スリープ・ディーラー」
Sleep Dealer



EUROPE



「世界の終わりの過ごし方」
The Way I Spent the End
of the World

LATIN
AMERICA



「神の羊」
Cordero de Dios



SUNDANCE/NHK INTERNATIONAL FILMMAKERS AWARD

「サンダンス・NHK国際映像作家賞」とは？

NHKは、理念を共にするサンダンス・インスティテュート(※)と共同で、「サンダンス・NHK国際映像作家賞」を毎年実施しています。この賞は、1996年、映画生誕100年を記念して才能ある若い映像作家を世界中から発掘する目的で設けた「シネマ100・サンダンス国際賞」の意義と成果を受け継ぎ、1997年にNHKとサンダンス・インスティテュートが共同で始めたプロジェクトです。次世代を担う新しい映像作家の発掘と支援を通じて、世界の映像文化への貢献と文化交流を目指しています。日本、アメリカ、ラテン・アメリカ、ヨーロッパの各地域でシナリオを募集、まず地域ごとの予備選考をおこないます。その後、世界の第一線で活躍する映画人で構成される国際審査委員会により、各地域1名、計4名の最優秀者が選出されます。毎年、選考には世界中から多数の応募が寄せられています。「セントラル・ステーション」(1996受賞・ブラジル)のウォルター・サレス、「君とボクの虹色の世界」(2004受賞アメリカ)のミランダ・ジュライ、「酒井家のしあわせ」(2005受賞・日本)の呉美保など多くの才能がこの賞から生まれています。

※サンダンス・インスティテュート

1981年に俳優・監督のロバート・レッドフォードが創設したインディペンデント系(独立系)映画人養成・支援のための非営利団体。監督・脚本養成研修、ドキュメンタリー映画制作研修など、世界的なネットワークを活用した様々なプログラムを実施しています。毎年1月下旬にユタ州パークシティで開催される「サンダンス映画祭」はインディペンデント系映画祭として世界で最も注目される映画祭となっています。サンダンスが輩出した人材には「レザボア ドッグス」のクエンティン・タランティーノ、「セックスと嘘とビデオテープ」のスティーブン・ソダーバーグをはじめ、ブライアン・シンガー、ジョン・キャメロン・ミッチェル、ラッセ・ハルstromなどがいます。

1996 → 2008



2005年「酒井家のしあわせ」



1999年彼女を見ればわかること



2002年「ミラーを拭く男」



2001年「水の女」



2004年「君とボクの虹色の世界」



2003年「ウィスキー」



2003年「ウル100%」



1996年「セントラル・ステーション」



2000年「ランドリー」



2006年「タホ湖」

応募要項

1 応募資格

- (1) 応募脚本を**自ら監督として**映画化することを目的とする者。
- (2) 応募者は作者本人に限る。団体・個人を問わず、代理人による応募は認められない。

2 応募規定

- (1) 応募シナリオ
 - 応募者自身の執筆による4～6万字(2時間の長編劇映画)程度のオリジナル日本語脚本(共同執筆は可。ただし、応募者は監督希望当人に限る。)
 - 過去に映画化された作品、他団体主催のコンクールにおいて入賞した作品は不可。
 - 原作ものの映画化に関しては、権利がクリアされていることを条件とする。
 - 作品ジャンルは問わない。ただし、アニメーションを除く。
- (2) 過去の映像作品(審査の参考とします。必ず提出してください。)
 - 公開の有無、ジャンル(映画、TVドラマ、ミュージックビデオ、CMなど)不問。
 - 自主制作、短編、ビデオ作品も可。
 - 提出フォーマットは、VHSテープもしくはファイナライズをしたDVD
注:ファイナライズされていないDVDなど視聴不可能な状態で提出された場合、審査対象からはずされます。ご注意ください。

3 応募提出物

- (1) 応募シナリオ
 - A4サイズ、縦書き(横書きは不可)。各頁に頁番号をふる。
 - 原稿は綴じずにクリップ等でひとまとめにして送付。
(上記の形体をとらない応募シナリオは、審査不可とみなす可能性あり。)
- (2) 過去の映像作品のVHSテープまたはDVD
 - VHSテープもしくはDVDに、氏名、作品名、各作品の分数、製作年を必ず明記する。
 - 日本語以外の作品の場合、内容の説明文を添付する。
- (3) 規定の応募用紙
- (4) 応募シナリオの内容(1000字程度、A4サイズ)
- (5) 登場人物一覧(A4サイズ)
- (6) 応募者の住所・氏名を記入した官製ハガキ(シナリオ受領確認後に返送)

4 応募方法

応募希望者は、すべての提出物を同封の上、郵便書留もしくはそれに準ずる郵送方法にて、応募期間内に応募先へ送付する。送料は応募者の負担とし、応募書類(原稿、VHSテープ、DVD等)は返却されない。また応募するシナリオ等の事務局受領時までの紛失、焼失などの事故に関して主催者側は責任を負わない。

5 応募先

〒150-0047 東京都渋谷区神山町4-14
第三共同ビル3F NHKエンタープライズ内
「サンダンス・NHK国際映像作家賞 日本部門2009」事務局

6 応募期間

2008年5月1日(木)～6月30日(月) ●当日消印有効

7 審査方法

【一次審査(7月～8月)】 ◆合否通知:2008年9月上旬

一次審査員が、応募シナリオ・過去の映像作品・応募書類により、約10本の一次審査通過作品を選出する。

【二次審査(9月～10月)】 ◆合否通知:2008年10月中

二次審査員が、一次審査通過作品の作家を面接審査し、二次審査通過3作品を選出する。
注:二次審査に通過した3名は、「サンダンス・NHK国際映像作家賞2009」ファイナリストとして、国内外のプレスに公表される。

【最終審査(10月～11月)】 ◆合否通知:2008年12月中旬

日米の第一線で活躍する映画人からなる、独立した国際審査員団が、二次審査通過3作品から受賞1作品を選出する。

【発表及び表彰(翌年1月)】

受賞者1名は、「サンダンス・NHK国際映像作家賞2009」の日本部門受賞者として、他の3地域(アメリカ、ラテン・アメリカ、ヨーロッパ)の受賞者とともに、2009年1月米国ユタ州で開催されるサンダンス映画祭において表彰される。

8 授賞内容

「サンダンス・NHK国際映像作家賞2009」受賞者には、賞金1万米ドルが授与される。また、受賞作が完成した際には、NHKが日本国内の放送権購入を保障する。(製作開始・終了期限、納期、放送基準等、NHKの定める諸条件を満たした場合。)

9 了承事項

受賞作品が映画化された場合、受賞者はサンダンス映画祭及び関連企画のために、日本または外国のテレビ等で作品の一部が放映されたり、出版物にスチール写真が掲載されることについて、これを了承する。また、完成した映画には指定する協カクレジットを入れることを了承する。

2008年受賞作

JAPAN 日本

「アポトシス」 APOPTOSIS

監督:永津愛子 Aiko Nagatsu



福岡県出身。中学・高校では演劇部に所属し、自らの脚本、演出で上演を経験する。その後アニメーション制作会社で制作進行、文芸を担当する。本作が初めての長編作品。

出版社に勤務する24歳のマリは、ある日突然会社から解雇される。するとテレビが壊れ、住んでいるアパートが取り壊しになり、恋人と喧嘩別れし、最後には大好きな祖母の死を知ることになる。立て続けに起こる喪失をマリは時に受け入れ、時に拒む。やがてマリは知る。抗っても失ってしまう何か、守りたくても失ってしまう何か、そして、それでもなお失われない何かを。

EUROPE ヨーロッパ

「世界で一番幸せな女の子」

THE HAPPIEST GIRL IN THE WORLD (ルーマニア)

監督:ラドウ・ジュデ Radu Jude



ブカレストのメディア大学を卒業後、コスター・ガヴラス監督やクリスティ・ブイウ監督の助監督をつとめながらテレビドラマ、CM、ミュージックビデオの演出で名をはせる。短編映画が世界の映画祭で多数受賞。本作が長編第一作となる。

18歳の女の子テリアはルーマニアの田舎町に両親と住む、ごく普通の女の子。ある日飲料会社の懸賞に当選し高級乗用車をもらうことになった。条件はブカレストでCMに出演すること。一見簡単そうなCM撮影がどんどんあらゆる方向へ進んでいき、高級車の扱いをめぐる親子の意見が対立する。嬉しい出来事であるはずの当選が家族の絆に影を落とす。

U.S.A. アメリカ

「ヒア」 HERE

監督:ブレイデン・キング Braden King



CM、ミュージックビデオ、実験短編映画、ビデオインスタレーションなど幅広く表現活動を続け、写真家のローラ・モヤと共同監督した長編「Dutch Harbor」は各国の映画祭で上映された他、ヨーロッパで劇場公開された。「ヒア」は世界を旅しながら10年以上温めてきた企画。

ウィルはアメリカ人の衛星測量技師。もう何年も、たったひとりで世界中を巡り、この仕事を続けている。正確で新しい地図を作るために訪れたアルメニアで写真家のギャダリンと出会い、旅を共にする2人。初めて他人の目を通して世界を見ることを知る。やがて旅は終わりに差しかかり、2人はそれぞれ、ここ (HERE) からどこへ向かうのか決めなければならない。

LATIN AMERICA ラテン・アメリカ

「フアチヨ」 HUACHO (チリ)

監督:アレハンドロ・フェルナンデス・アルメンダラス Alejandro Fernández Almendras



チリ大学でコミュニケーションとジャーナリズムを修め、映画批評家、カメラマン、ジャーナリストとして活動。2001年からは短編映画の製作を始め、ベルリンなど各国の映画祭で多数の受賞がある。本作「フアチヨ」が長編第一作。

チリ南部、チジャン郊外の寒村に暮らす、ある農民一家の長い一日。老夫婦のコレネリオとクレミダ、その娘アレハンドラと孫のマヌエル。4人は急激に変わる世の中に取り残されそうになりながら日々を送っている。地元出身の素人を出演者に起用し、ドキュメンタリー的な視覚表現でかすかなおかしさをたたえた人間ドラマを綴る。

2007年 受賞作

「川べりのふたり」

TWO BY THE RIVER
監督:海南友子 Tomoko Kana

「ザ・グッド・ハート」

THE GOOD HEART (アイスランド)
監督:ダーグル・カリ Dagur Kári

2006年 受賞作

「クローンは故郷をめざす」

THE CLONE RETURNS TO THE HOMELAND
監督:中嶋莞爾 Kanji Nakajima

「春の儀式」

THE SPRING RITUAL (ベルギー)
監督:ノトリス・トイ Patrice Toye

2005年 受賞作

「酒井家のしあわせ」

THE SAKAIS' HAPPINESS
監督:呉美保 Mipo

「世界の終わりの過ごし方」

THE WAY I SPENT THE END OF THE WORLD (ルーマニア)
監督:カタリン・ミツレスク Catalin Mitulescu

「立ったまま埋葬してくれ」

BURY ME STANDING
監督:キャラン・ハーツフィールド Caran Hartsfield

「神の羊」

CORDERO DE DIOS (アルゼンチン=フランス)
監督:ルシア・セドロン Lucía Cedrón

「溺れさせないで」

DON'T LET ME DROWN
監督:クルス・アンヘルズ Cruz Angeles

「タホ湖」

LAKE TAHOE (メキシコ)
監督:フェルナンド・エイムボッケ Fernando Eimbcke

「バーチャルラブ」

VIRTUAL LOVE
監督:リチャード・プレス Richard Press

「ボディガード」

THE MINDER (アルゼンチン)
監督:ロドリゴ・モレノ Rodrigo Moreno

2004年
受賞作

■ 該当作なし

■ 「タクシデルミア」
TAXIDERMIA (ハンガリー)
監督: ジョルジ・バルフィ Gyorgi Palfi

■ 「君とボクの虹色の世界」
ME AND YOU AND EVERYONE WE KNOW
監督: ミランダ・ジュライ Miranda July

■ 「砂の家」
THE HOUSE OF SAND (ブラジル)
監督: アンドルーチャ・ワディントン Andrucha Waddington

2003年
受賞作

■ 「ウール100%」
WOOL 100%
監督: 富永まい Mai Tominaga

■ 「雲が出るまで」
WAITING FOR THE CLOUDS (トルコ)
監督: イェシム・ウスタオウル Yesim Ustaoglu

■ 「モーテル」
THE MOTEL
監督: マイケル・カン Michael Kang

■ 「ウイスキー」
WHISKY (ウルグアイ)
監督: ホアン・P・レベラ&パブロ・ストール Juan P Rebella & Pablo Stoll

2002年
受賞作

■ 「ミラーを拭く男」
THE MAN WHO WIPES MIRRORS
監督: 梶田征則 Seisoku Kajita

■ 「羊の啼き声」
THE BLEATING OF SHEEP (アルバニア)
監督: ジェルジ・ジュヴァニ Gjergj Xhuvani

■ 「スリープ・ディーラー」
SLEEP DEALER
監督: アレックス・リヴェラ Alex Rivera

■ 「タブロイド」
CRONICAS (エクアドル)
監督: セバスチャン・コルデロ Sebastian Cordero

2001年
受賞作

■ 「水の女」
WOMAN OF WATER
監督: 杉森秀則 Hidenori Sugimori

■ 「ハリマの楽園」
HALIMA'S PARADISE (オランダ)
監督: ファティマ・ジェブリア・ウアザニ Fatima Jebli-Ouazzani

■ 「マッジ少年」
THE MUDGE BOY
監督: マイケル・バーク Michael Burke

■ 「アル・シエロ 空へ」
TODAS LAS AZAFATAS VAN AL CIELO (アルゼンチン)
監督: ダニエル・ブルマン Daniel Burman

2000年
受賞作

■ 「Laundry ランドリー」
LAUNDRY
監督: 森淳一 Jyunichi Mori

■ 「道のり」
THE INVITATION (イギリス)
監督: カリーヌ・アドラー Carine Adler

■ 「雌鹿少年」
THE DOE BOY
監督: ランディ・レッドロード Randy Redroad

■ 「オティリア」
OTILIA RAUDA (メキシコ)
監督: ダナ・ロトベルグ Dana Rotberg

1999年
受賞作

■ 「Go!」
Go! HEAT MAN!
監督: 矢崎充彦 Mitsuhiro Yazaki

■ 「ベリー・アニー・メアリー」
VERY ANNIE MARY (イギリス)
監督: サラ・シュガーマン Sara Sugarman

■ 「彼女を見ればわかること」
THINGS YOU CAN TELL JUST BY LOOKING AT HER
監督: ロドリゴ・ガルシア Rodrigo Garcia

■ 「沼地という名の町」
LA CIENAGA (アルゼンチン)
監督: ルクレシア・マルテル Lucrecia Martel

1998年
受賞作

■ 「ピーピー兄弟」
THE BLEEP BROTHERS
監督: 藤田芳康 Yoshiyasu Fujita

■ 「ボスニアの青い空」
WHERE ESKIMOS LIVE (ポーランド)
監督: トマス・ビシュニエスキ Tomasz Wisniewski

■ 「リフト」
LIFT
監督: デメイン・デビス、カーリ・ストリーター DeMane Davis/Khari Streeter

■ 「口笛高らかに」
LA VIDA ES SILBAR (キューバ)
監督: フェルナンド・ペレス Fernando Perez

1996年
受賞作

■ 「Mr.Pのダンシング・スシ・バー」
Mr. P'S DANCING SUSHI BAR
監督: 田代廣孝 Hirotaka Tashiro

■ 「フラミンゴの季節」
SIN QUERER (ドイツ=アルゼンチン)
監督: シーロ・カペラリ Ciro Cappellari

■ 「スモーク・シグナルズ」
SMOKE SIGNALS
監督: クリス・エア Chris Eyre

■ 「セントラル・ステーション」
CENTRAL DO BRAZIL (ブラジル)
監督: ウォルター・サレス Walter Salles

■ 日本 JAPAN ■ アメリカ U.S.A. ■ ヨーロッパ EUROPE ■ ラテン・アメリカ LATIN AMERICA

「サンダンス・NHK国際映像作家賞 日本部門2009」事務局

〒150-0047 東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル3F NHKエンタープライズ内 TEL 03-3481-7850 (月～金 11:00～17:00)